

あたら 2026 あ す
新しき明日を
つくる



せん そう じん けん
戦争と人権

もくじ

はじめに	P1~2
1. 太平洋戦争 <small>たいへいようせんそう</small>	P3
2. 対馬丸事件 <small>つしまる じけん</small>	P4~6
3. ひめゆり学徒隊と沖縄戦 <small>がくとたい おきなわせん</small>	P7~8
4. 大刀洗大空襲 <small>た ちあらいだいくうしゅう</small>	P9~12
おわりに	P13~14

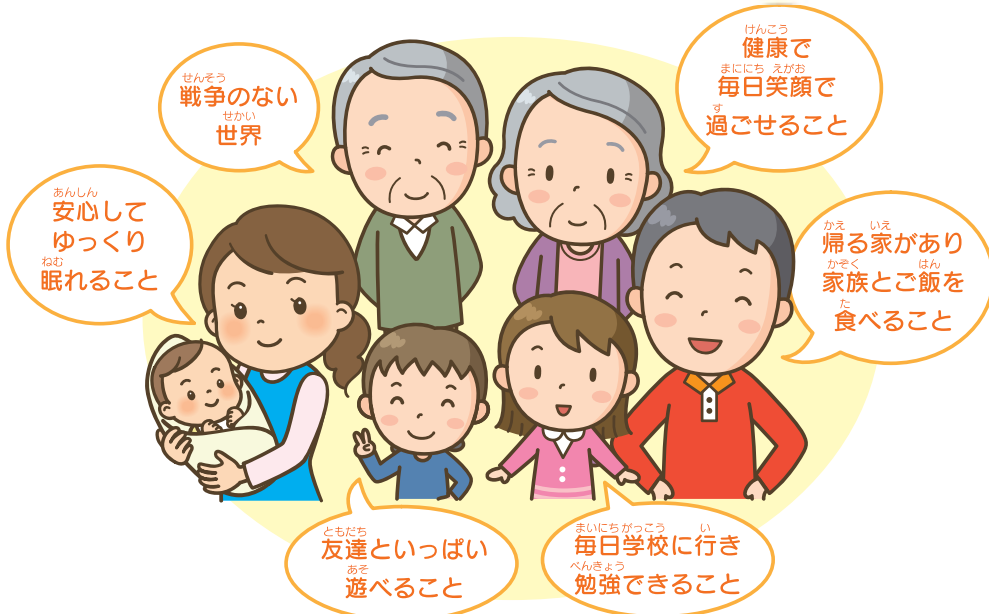
か ま し か ま し きょういく い いん かい
嘉麻市・嘉麻市教育委員会

※音声コードをページ左下・右下に印刷しています。読み上げ装置やUni-Voiceアプリを入れたスマホで読み取ると、記録されている情報を音声で聞くことができます。



はじめに

あなたにとって「平和」とは？



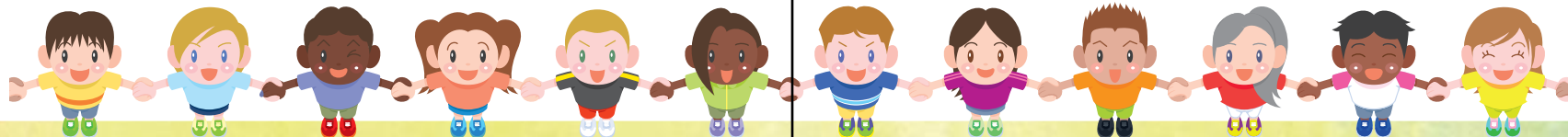
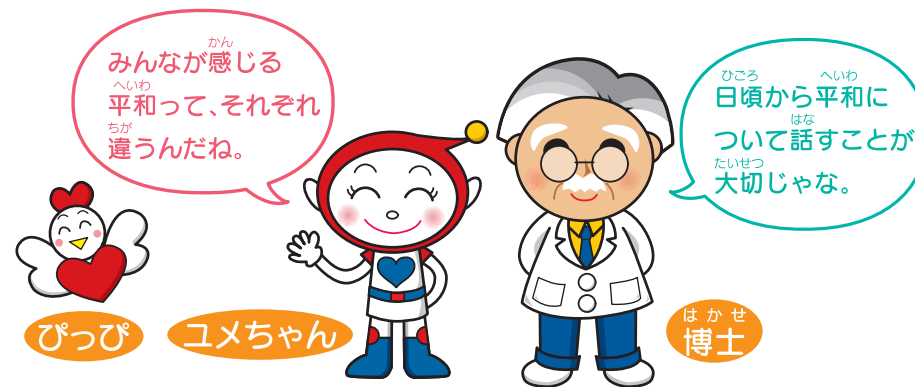
「平和」とは、世界中のすべての人が笑顔で、自分らしく安心して暮らせること。誰もが恐怖や不安を感じることなく、お互いの人権が尊重される「共生社会」(誰もが互いの違いを認め合い、尊重し、支え合いながら、自分らしく安心して暮らせる社会)。それこそが、私たちが目指す「平和」の姿ではないでしょうか。

しかし、5,000万人以上もの人々を犠牲にした、人類史上経験のない悲惨な戦争(第二次世界大戦)を体験したにも関わらず、今なお、世界各地で戦争や紛争、内戦が絶えません。ロシアとウクライナによる戦争、イスラエルとパレスチナの紛争など、尊い多くの命が奪われ、暮らしが壊されています。

「戦争は最大の人権侵害」で、最も基本的な人権である「いのちそのもの」を危険にさらし、「生きる権利」を奪います。

私たちは、悲惨な戦争を経験した人たちの証言や体験などを語り継ぎ、次世代へ引き継ぎ、後世へ平和の尊さを伝え、二度と同じ過ちを繰り返してはなりません。

戦後80年、今一度「戦争と人権」について考えてみたいと思います。

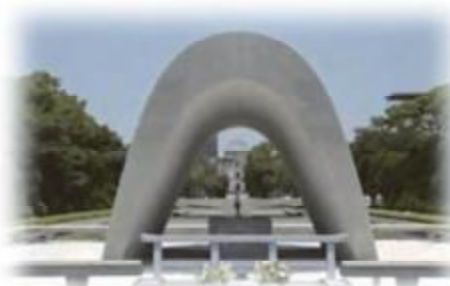


1 太平洋戦争

太平洋戦争は、1941(昭和16)年から1945(昭和20)年にかけて、日本とアメリカ・イギリスなどの連合国との間で行われた戦争です。日本は資源不足を背景に、中国や東南アジアへの進出を強めました。しかし、これに対してアメリカは経済制裁を行いました。追い詰められた日本は、1941(昭和16)年12月8日、ハワイの真珠湾を攻撃し、太平洋戦争が始まりました。

開戦当初、日本は東南アジアや太平洋の島々で勢力を拡大しましたが、1942(昭和17)年のミッドウェー海戦を境に、アメリカは物量と工業力を活かして反撃を強め、日本は次第に追い込まれていきます。

1945(昭和20)年、東京などの都市が空襲で大きな被害を受け、6月には沖縄戦に敗北し、8月には広島と長崎に原子爆弾が投下されました。同年8月15日、日本は降伏を受け入れ、太平洋戦争は終結を迎えます。



へいわきねんこうえん ひろしまし
平和記念公園(広島市)



へいわこうえん ながさきし
平和公園(長崎市)

戦争には一般市民も巻き込まれ、その中には、何の罪もない子どもたちも含まれています。
ここからは、多くの子どもたちが犠牲となった悲劇に触れたいと思います。



2 対馬丸事件

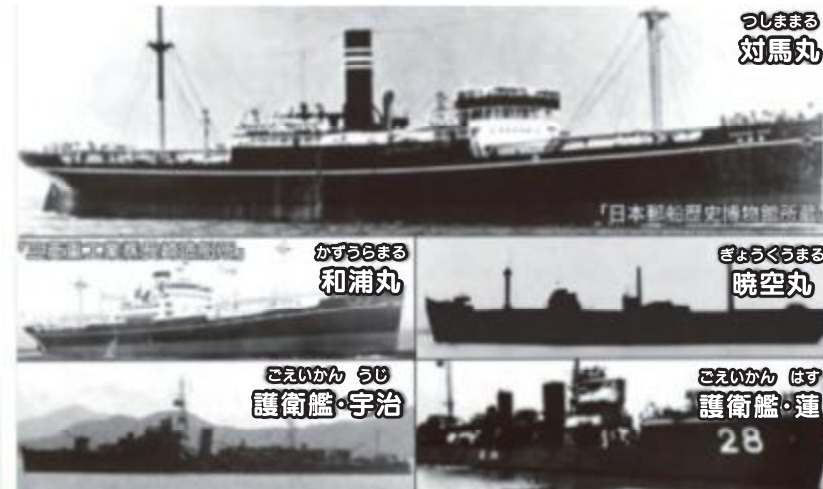
■ 沖縄から長崎へ…

戦争が激しさを増す中、米軍にサイパン島を占領された日本軍は、次は沖縄が標的となると判断し、政府は緊急疎開を沖縄県に命令。沖縄県は、「県外転出実施要項」を策定し、高齢者、子ども、女性の島外疎開を決定します。

疎開が進むなか、1944(昭和19)年8月21日、貨物船対馬丸は疎開者(学童集団疎開、一般疎開)1,661名のほか、船員、船舶砲兵隊員を含む合計1,788名を乗せ、同じく多くの疎開者を乗せた和浦丸、暁空丸とともに長崎を目指し出港しました。

■ 那覇港から長崎港をめざし集合した船団

かもちせん つしま丸 かずら丸 ぎょうく丸
貨物船 対馬丸・和浦丸・暁空丸
ごえいかん うじ はす
護衛艦 宇治・蓮



つしま丸きねんかんでいきょう
(対馬丸記念館提供)

- 貨物船 対馬丸
- 全長 135.6m 6,754t
- 速力 11ノット (時速 約21km)
- 建造後30年の老朽船



せんない
船内では……

まど かんき わる せんそうない どくとく あせ がくどう
窓ひとつない換気の悪い船倉内は独特のにおいと汗だくの学童たちの
たいしゅう む ぶろ ふうの ような 暑さでした。

せんそうない おお にだん たな つく ひと
船倉内には大きな二段の棚が作られ、どこも人
でぎっしりとうまり蒸し暑く、眠れるような状態
ではありませんでした。

かっつて こうどう きんし がくどう おお
また、勝手な行動は禁止され、学童たちには大
きすぎる大人用の救命胴衣の着用が命じられて
いました。

たいふう せつきん なみ たか
台風が接近していたこともあって、波が高く、
ふなよ しゃ そくしゅう
船酔い者も続出しました。



つしまるきねんかんでいきょう
(対馬丸記念館提供)



つしまるきねんかんでいきょう
(対馬丸記念館提供)

つしまるげきんじげん ■対馬丸撃沈事件

おきなわ なはこう しゅうこう じかん ぶんご しょうわ ねん がつ にち
沖縄の那覇港を出港して27時間30分後、1944(昭和19)年8月22日22
じ ぶん かごしまけん れつとう あくせきしまほくせいやく ちてん べいぐん せんすい
時12分、鹿児島県トカラ列島 悪石島北西約10キロの地点で、米軍の潜水
かん こう ぎょういこうげき う ちんぼつ
艦ボーフィン号の魚雷攻撃を受け沈没しました。

こうげき よなか できごと
攻撃は夜中の出来事であり、わずか
ぶんほど ちんぼつ
10分程で沈没したため、ほとんどが
せんそう とのこ
船倉に取り残されました。

だつしゅう せいこう ひと せつきんちゅう
また、脱出に成功した人も接近中
たいふう えいきょう たかなみ
だった台風の影響で、高波にのまれ、
ただい ぎせい だ
多大な犠牲を出しました。



つしまるきねんかんでいきょう
(対馬丸記念館提供)



こうげき
どうして攻撃されたの？
こ の
子どもたちがいっぱい乗っていたのに！

しゃんはい の にほん へいたい
それはね、上海から乗せた日本の兵隊
なはこう お こ そかいしゃ
を那覇港で降ろし、子どもたち疎開者
の べいぐん へいたい の
を乗せたんだが、米軍は兵隊が乗って
おも こうげき
いると思って攻撃したんだ。



ひょうりゅう きゅうしゅつ かんこうれい ■漂流・救出と箱口令

まよなか うみ ほうだ じょうせんしゃ め まえ う もの
真夜中の海に放り出された乗船者たちは目の前に浮かぶあらゆる物に
すがりつき生き延びようとしました。

さいしょ ほつげん きゅうさせいほおむらひこうたいしよそく たち
最初に発見したのは、旧佐世保大村飛行隊所属のパイロット達でした。
きんかい りょう ぎよせん せき つうしんとう お し げんば けうどう きゅうじよ
近海で漁をしていた漁船2隻に通信筒を落として知らせ、現場へ誘導、救助
をはじめます。

きゅうじよ ひと なか すうじつかなが はな あまみおお
救助されなかった人の中には、数日間流され、150キロも離れた奄美大
しま ひょうちやく ひと
島へ漂着した人もいました。

よくあざ おお ひとびと ちから なが
翌朝までに多くの人々が力つき、流されて
しまいました。

かろうじて きゅうしゅつ ひとびと ぐんぶ
かろうじて救出された人々は、軍部から
げきちん じじつ けつ かた
「撃沈の事実は決して語ってはいけない」とい
げんじゅう かんこうれい
う厳重な「箱口令」がかけられました。



つしまるきねんかんでいきょう
(対馬丸記念館提供)

せんそう きおく みらい 戦争の記憶を未来へ

むじんたんさき ちょうさ せんたい ほんけん ■無人探査機による調査で船体を発見

ないかくふ れいわ ねん がつ にち がつ にち じっし
内閣府は、2025(令和7)年11月27日から12月18日にかけて実施した
かいていちょうさ むじんたんさき しょう つしまる せんたい かくにん
海底調査で、無人探査機を使用して「対馬丸」の船体を確認しました。

つしまる ひげき ねんいじょう
対馬丸の悲劇から80年以上が
けいか こんにち せんたい ほんけん せんそう
経過した今日、船体の発見は戦争
きおく ふうか せないための じゅう
の記憶を風化させないための重
よう けいき ちょうさ ぶんせき すす
要な契機となり、調査や分析を進
めるとは、たいへいようせんそう
民間人、特に子どもたちの犠牲を
さいにんしき へいわ たいせつ じせだい
再認識し、平和の大切さを次世代
けいしりょう いぎ も
に継承する意義を持っています。



かごしまけん あくせきしまおき すいしんやく
鹿児島県・悪石島沖の水深約870メートルで
かくにん つしまる せんたい
確認された「対馬丸」の船体。

しゅうでん ないかくふ
出展：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/okinawa/8/2025/1223_tsushimamaru.pdf)



3 ひめゆり学徒隊と沖縄戦

がくとたい おきなわせん

たいへいようせんそうまつき しょうわ ねん がつ げつあま にちべいりようぐん おき
太平洋戦争末期の1945(昭和20)年3月から3か月余り、日米両軍は沖
縄で住民を巻き込んだ地上戦を繰り広げました。

べいぐん にほんほんどうりやく きよてん おきなわ かくほ あつとうてき ぶつ
米軍は、日本本土攻略の拠点として沖縄を確保するため、圧倒的な物
りよう こうげき にほんぐん おきなわ ほんどぼうえい ぼうはてい いち べいぐん
量で攻撃しました。日本軍は、沖縄を本土防衛の防波堤と位置づけ、米軍
ほんどじょうりく にち おく こう ひそ ちようきせん じきゅう
の本土上陸を1日でも遅らせるために、壕に潜んで長期戦にもちこむ持久
さくせん をとりました。この作戦が沖縄戦を長引かせることとなりました。

おきなわせん にちべい せんししゃ まんにん
沖縄戦での日米の戦死者は20万人
以上にのぼり、その6割に当たる
12万人は沖縄県民だったんだ。



にほんぐん へいりよくぶそく おきな おきなわけんみん ね どういん ちゅうとうがっこう
日本軍は兵力不足を補うため、沖縄県民を根こそぎ動員し、中等学校や
しはんがっこう だい せいと せんじょう どういん なはしあさと
師範学校などの10代の生徒まで戦場に動員しました。那覇市安里にあった
「沖縄師範学校女子部」と「沖縄県立第一高等女学校」からも、生徒・教師
めい かんごよういん おきなわりくぐんびよういん どういん ふしょう へいし かんご
240名が看護要員として沖縄陸軍病院に動員され、負傷した兵士の看護に
じゅうじ 2校 あいしょう せんご かのじよ
従事しました。2校の愛称が「ひめゆり」であったことから、戦後、彼女たち
がくとたい よ
は「ひめゆり学徒隊」と呼ばれるようになりました。

べいぐん しんごう しょうわ ねん がつまつ にほんぐん おきなわほんとう なんぶ
米軍の侵攻により、1945(昭和20)年5月末に日本軍は沖縄本島の南部
てつたい がつ にち よる とつぜん がくとたい かくしみずか ほんだん こうどう
へ撤退しました。6月18日の夜に突然、学徒隊に「各自自らの判断で行動せ

かいさんめいれい い わた けつかてき べいぐん ほういもう なか ほう だ
よ」という「解散命令」が言い渡され、結果的に米軍の包囲網の中に放り出
されることとなりました。捕虜となることを恐れた学徒たちは、壕などで
しりゅうだん ぼくはつ しゅうだんじけつ こう で がくと ほうだん ふ と
手榴弾を爆発させて集団自決したり、壕を出た学徒は砲弾に吹き飛ばされ
たり、海岸で大波にのまれたりして最終的に、沖縄陸軍病院に動員された
かいがん おおなみ さいしゅうてき おきなわりくぐんびよういん どういん
240名のうち136名が亡くなりました。

めい 240名のうち136名が亡くなりました。
めい な
死亡者の86%にあたる117人が6月18日の解散命令後に死亡、または
しぼうしや にん がつ にち かいさんめいれいご しほう
行方不明になっており、「解散命令」によって
ぎせいしゃ ひやくてき ふ い
犠牲者が飛躍的に増えたとされています。

おきなわりくぐんびよういん どういん がくと
沖縄陸軍病院に動員された学徒たち
いがい にん せいと きょうし
以外にも、91人の生徒と教師が
おきなわせん な
沖縄戦で亡くなりました。



おきなわせん しゅうえん ち いとまんし いぼらだいさんげかこう あとち とう
沖縄戦の終焉の地・糸満市にある伊原第三外科壕の跡地にひめゆりの塔
ごんりゅう ぎせいしゃ なまえ きざ おきなわせん ひげきわす
が建立され、犠牲者の名前が刻まれています。沖縄戦の悲劇を忘れないた
め的重要な場所であり、平和への願いを込めて多くの人々が訪れています。



たちあらいだいくうしゅう
大刀洗大空襲

たちあらい きゅうりくくん とうよういち
大刀洗には、旧陸軍が東洋一を
ほこ たちあらいひこうじょう ちゅうしん
誇った大刀洗飛行場を中心とする
いちだいくんと そんざい れきしてき やくわり
一大軍都が存在し、歴史的な役割
は おお はってん
を果たしながら大きく発展してい
しょうてんがい てつどうもう じゅうじつ かつ
き、商店街や鉄道網の充実など、活
きみ
気に満ちていました。



たちあらいひこうじょう げんざい ちくぜんまち たちあらいまち あさくらし しきち
大刀洗飛行場は現在の筑前町、大刀洗町、朝倉市にまたがる敷地に1919
たいしやう ねん けんせつ とっこうたい こうくうきよてん やくわり も きやう
(大正8)年に建設されました。特攻隊の航空拠点としての役割を持ち、教
いくしせつ たちあらいりくぐんひこうがっこう つく わか とっこうたいいん
育施設として 大刀洗陸軍飛行学校が作られ、数多くの若き特攻隊員た
くんれん おこな
ちの訓練が行われました。



かまし たちあらい とんた もり さんげんや もり いちかんけいず
嘉麻市と大刀洗・頓田の森・三軒屋の森 位置関係図

しゅうせん とし しやうわ ねん がつ にち こうしゅう た
終戦の年となる1945(昭和20)年3月27日、それまで空襲のなかった大
ちあらい そら べいくんき しゅうらい たちあらい ひとびと はじ み だい
刀洗の空に米軍機が襲えました。大刀洗の人々が初めて見るB-29の大
へんたい はつちか ばくだん とうか かい こうげき ひこうじやう
編隊から、1,000発近い爆弾が投下されました。6回にわたる攻撃で飛行場
かいてつてき だげき う ひこうじやう しゅうへん おお ひとびと いちうしな
は壊滅的な打撃を受け、飛行場とその周辺で、多くの人々の命が失われま
ぎせいしゃ にん こ
した。犠牲者は600~1,000人を超えともいわれています。



たても の なに
この建物は何？



えんたいごう
これは、掩体壕という、
てき こうげき こうくうき まも
敵の攻撃から航空機を守
かくのうご
るための格納庫なんだ。
たちあらいひこうじやうしゅうへん
大刀洗飛行場周辺には
つく
いくつも作られたけど、
げんせん
現存しているのはここ
だけなんだよ。
おお たか
大きさは、高さ7m30cm、
はば
幅44mもあるんだ。



かまし たちあらい
嘉麻市と大刀洗
ひこうじやう
飛行場は10.5km
はな
しか離れて
いないんだね



ちりいんちず かこう さくせい
(地理院地図を加工して作成)



とんた もり ひげき
■ 頓田の森の悲劇

たちあらいだいくしゅう 大 刀 洗 大 空 襲 が あ っ た そ の 日、朝倉郡立石国民学校（現在の朝倉市立立石小学校）は終業式の日でした。

こせんちゅう じどう こうどう しゅうこう 午前中、児童が講堂に集合している最中に空襲警報が鳴ったため、地区ごとに分かれ集団下校することになりました。しかし、一ツ木地区の児童

たちは標的になる飛行学校兵舎前を避けるために引き返し、近くの「頓田の森」に避難しました。

そこへ爆弾が炸裂し児童24人が即死、7人が病院で死亡しました。



とんた もり へいわかえん
頓田の森「平和花園」

児童たちが犠牲になった同市一ツ木地区では、悲劇が起きた直後に建立された「延命地蔵」の前で、地区遺族会が毎年慰霊祭を行っています。

慰霊祭には遺族ら約30人が参加し、祭壇には犠牲になった子どもたちの遺影や立石小学校の児童が作った千羽鶴が供えられています。



とんた もり お づるどう
頓田の森 折り鶴堂



とんた もり へいわ ねが かんばんせつち
頓田の森には平和を願い看板設置



ひとつぎじんじやえんめいじそうぼさつ ゆらい
一ツ木神社延命地蔵菩薩の由来

ばくだん いっしゆん こ うしな おや 爆弾により一瞬にしてわが子を失った親の悲しみと、切なさは、二度と繰り返してはならない戦争への憤り、恒久平和を願って、1945(昭和20)年11月20日この延命地蔵が建立されました。



さんげんや もり
■ 三軒屋の森

1945(昭和20)年3月27日、悲劇は三井郡立石国民学校（現在の小郡市立立石小学校）でも起きました。児童たちが頓田の森から8キロ離れた「三軒屋の森」に避難していたところ被弾。3人が即死、15人前後が重軽傷を負いました。2005(平成17)年戦争の記憶が風化されないように「平和の碑」が設立されました。



さんげんや もり へいわ ひ
三軒屋の森「平和の碑」



ふせん ひ みいぐん げんざい おごおりし たていし はなたてちく くらしゅう
『不戦の日』～三井郡（現在の小郡市）立石、花立地区の空襲～

1945(昭和20)年3月31日、三井郡（現在の小郡市）立石花立地区を中心に2回目の空襲があり、甚大な被害を受けました。花立地区では、戦争を風化させてはいけないと、この3月31日を「不戦の日」と位置づけ、毎年法要が行われています。

おわりに

2025(令和7)年8月に日本は戦後80年を迎え、戦争を直接経験した人は年々減少しています。

これらの経験者の話は戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶうえで貴重な記録ですが、その機会も減少してきています。

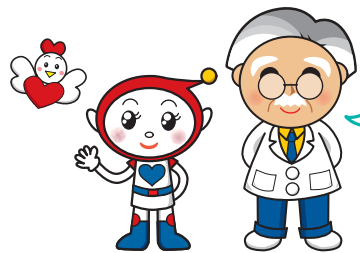
戦後80年というこの機会に、これからも平和であり続けるために、どのように過去の戦争から学び、そして未来につないでいくか考えてみてはいかがでしょうか。

「戦争は最大の人権侵害」で、すべての人が持つ生存権、表現の自由、財産権などあらゆる権利を奪います。

人権が守られる平和な世界を実現するために、私たち一人ひとりが「戦争はなぜいけないのか」、「人権を守っていくことはどういうことなのか」について過去から学び、考え、命の大切さ、平和の尊さを語り伝えていくことが大切です。

嘉麻市には戦争に関する資料を展示している「嘉麻市碓井平和祈念館」があります。戦争の記憶を後世に語り継ぎ学ぶ場としての大きな役割を担っています。

そして、嘉麻市碓井平和祈念館には「平和の火」が灯っています。この「平和の火」は被爆直後の広島から星野村(現八女市)に持ち帰られた火から分火されたもので1996(平成8)年の開館以来、恒久の平和を願った絶やすことなく灯し続けています。



これからも
平和の尊さを学び
みんなで伝えていく
ことが大切じゃな。



平和の火



展示の様子

嘉麻市碓井平和祈念館

住所: 嘉麻市上臼井767番地

開館時間: 9:30~17:30(日祝日は17:00まで)

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

毎月第4木曜日

12月28日から翌年1月4日まで

入館料: 無料

問合せ先及び施設案内の申込: 嘉麻市生涯学習課文化推進係
(☎0948-62-5720)

※閉館の30分前までにご入館ください。また、午前10時以前に見学を希望の際は 美術館事務室 (☎0948-62-5173) までご連絡ください。



か ま し ぶ ら く も ん だ い さま ざ ま じ ん け ん も ん だ い
 嘉麻市では、部落問題をはじめとする様々な人権問題の
 かい けつ すい し ん つぎ かつ どう
 解決を推進するために次のような活動をしています。

けい はつ きやう いく
啓発・教育

- 各種団体・企業などへの啓発活動
- 啓発資料・映像教材などの貸出
- その他、人権問題に関する活動
- 人権・部落問題研修会

ちやう さ けん きやう
調査・研究

- 人権・同和教育や啓発活動を推進するための研究会や意識調査等の方法についての調査・研究
- 差別の早期解決に向け、関係機関や団体等と連携した調査・研究

み ぢか そう だ ん まど くち じん けん
身近な相談窓口～人権について～

そう だ ん ない やう 相談内容など	そう だ ん き かん 相談機関	で ん わ ばん ごう 電話番号	そう だ ん じ かん たい 相談時間帯など
ぶ ら く も ん だ い 部落問題をはじめ とする人権に関する相談 さ べ つ て き あ つ か ぼう ごう 差別的扱い、暴行・ 虐待、いじめ、いや がらせ、プライバシー の侵害、セクハラな どの人権問題(人権 侵害)に関する相談	じやう せ つ そ う だ ん じ ゃ 常設相談所 みんなの人権110番	0570-003-110	へい じ つ 平日 8:30～17:15
	こ だ も の じん けん ばん 子どもの人権110番 ●メール相談窓口 https://www.jinken.go.jp/kodomo ●LINE相談窓口  とも づい ち 友だち追加は こ ち ら か ら !	0120-007-110	
	が い こ く こ じ じん けん そ う だ ん 外国語人権相談 ダイアル	0570-090-911	へい じ つ 平日 9:00～17:00 えい ご ちゆう ぐ ぐ かん ぐ ぐ 英語・中国語・韓国語・ フィリピン語・ネパール語・ ポルトガル語・スペイン語・ インドネシア語・タイ語・ ベトナム語に対応
	インターネット人権相談受付	https://www.jinken.go.jp/soudan/PC_AD/0101.html 	
	ふく お か ほう む き よ く じん けん よう ご ぶ 福岡法務局人権擁護部	092-739-4151	へい じ つ 平日 8:30～17:15
	か ま し や く し ゃ じん けん どう わ た い さ く か 嘉麻市役所人権・同和対策課	0948-42-7405	へい じ つ 平日 8:30～17:00
	か ほ り ん ぼ か ん 嘉穂隣保館	0948-57-0032	
じ ん けん けい は つ う す い 人 権 啓 発 セ ン ター あ か つ き うすい人権啓発センターあかつき	0948-62-3337		
だ ん じ ゃ き ゃ う どう さん か く す い し ん か 男女共同参画推進課	0948-62-5714		



はっ ちやう しゃ か ま し か ま し きやう いく いん かい
発行者：嘉麻市・嘉麻市教育委員会

と い あ わ さ き か ほ り ん ぼ か ん
問合せ先：嘉穂隣保館

..... ☎ 0948-57-0032

ねん がつ にち げん ざい
 2026年3月1日現在
 (情報は変更される場合があります。)